



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月3日

上場会社名 大正製薬ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4581 URL <https://www.taisho-holdings.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 上原 明  
 問合せ先責任者 (役職名)コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 田中 慎一 (TEL) 03-3985-2020  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	69,069	8.1	5,254	96.3	9,246	129.2	5,751	387.6
2022年3月期第1四半期	63,884	△14.8	2,676	△71.5	4,033	△63.7	1,179	△80.5

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 19,307百万円(177.7%) 2022年3月期第1四半期 6,953百万円(96.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	70.16	70.08
2022年3月期第1四半期	14.78	14.75

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	902,907	781,586	84.3
2022年3月期	888,159	767,957	84.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 760,842百万円 2022年3月期 747,397百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	280,500	4.6	16,000	48.9	20,000	8.6	12,000	△8.6	146.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	85,139,653株	2022年3月期	85,139,653株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	3,155,711株	2022年3月期	3,154,725株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	81,984,255株	2022年3月期1Q	79,817,241株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第1四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の国内OTC医薬品市場は、コロナ禍以降初の緊急事態宣言無しのゴールデンウィークを迎えるなど、人流の回復がみられたことから、ドリンク剤、鎮痛剤や検査薬などのカテゴリーが好調であったため前年を上回る結果で推移しました。しかしながら、訪日外国人の大幅な減少やマスクの着用や手洗い、うがいなどの感染症予防対策の定着の影響を受けコロナ禍以前の2019年度に対しては下回っております。

医薬事業につきましては、新薬創出の難易度が増す中で、医療費適正化政策の推進や薬価制度改革の影響等により、依然として厳しい事業環境が続いております。

こうした事業環境の中で、当社グループのセルフメディケーション事業部門は、製品開発面で生活者の健康意識の高まりに対応した新しい領域を開拓していくとともに、生活者のニーズを満たす製品開発をより一層進め、新たな需要の創造に努めております。また、販売面では生活者から支持される強いブランドを目指して、生活者との接点の拡大、共感を得る販促活動を実践するとともに、「大正製薬ダイレクト」、「TAISHO BEAUTY ONLINE」など、通信販売チャネルの拡大にも注力しております。

海外では、2009年度のアジアOTC医薬品事業への本格的な参入以来、インドネシア、フィリピン、タイ、マレーシアなど、東南アジアを中心としたOTC医薬品事業の強化に取り組んでまいりました。ベトナムにおいては、ハウザン製薬を2019年5月に連結子会社化し、同社の事業基盤を活かしたベトナムにおける医薬品事業展開の強化に取り組んでおります。また、2019年7月にはフランスのUPSA社を完全子会社化し、東南アジア市場に欧州市場を加えた2極体制により海外事業の拡大を図り、持続的な成長の実現を目指しております。

医薬事業部門では、重点領域に注力しながら、きめ細かい情報提供活動による新製品の早期立ち上げやライフサイクルマネジメントなどにも取り組み、売上最大化を図っております。また、後期開発品・製品の導入や自社創成品の導出等のライセンス活動の取り組みを進めています。加えて、研究開発面では外部研究機関との連携強化や先端技術の活用等にも取り組むことで、研究開発機能の強化によるパイプライン拡充に努めております。

当第1四半期連結累計期間のグループ全体売上高は、690億6千9百万円（前年同四半期比+51億8千5百万円、8.1%増—以下増減の比較については「前年同四半期比」の説明とする）となりました。

セグメント別の売上高は次のとおりであります。

セルフメディケーション事業	593億円	(+ 57億円	10.7%増)
内訳			
国内	279億円	(△ 9億円	3.3%減)
海外	307 "	(+ 64 "	26.4%増)
その他	7 "	(+ 3 "	55.4%増)
医薬事業	97億円	(△ 5億円	5.2%減)
内訳			
医療用医薬品	95億円	(+ 0億円	0.1%増)
その他	2 "	(△ 5 "	69.2%減)

主要製品・地域の売上状況は次のとおりであります。

<セルフメディケーション事業>

当第1四半期連結累計期間の売上高は、593億円（+57億円、10.7%増）となりました。

主力ブランドでは、「リポビタンシリーズ」は、122億円（3.5%増）となりました。「パブロンシリーズ」は、32億円（7.6%減）となりました。「リアップシリーズ」は、25億円（29.7%減）となりました。「ビオフェルミンシリーズ」は、28億円（9.8%増）となりました。

海外では、アジア地域で146億円（20.9%増）、欧米地域で160億円（31.9%増）となりました。

<医薬事業>

当第1四半期連結累計期間の売上高は、97億円（△5億円、5.2%減）となりました。

主要製品では、2型糖尿病治療剤「ルセフィ」34億円（10.2%増）、骨粗鬆症治療剤「ボンビバ」19億円（6.8%増）、経皮吸収型鎮痛消炎剤「ロコア」は11億円（15.7%増）、整腸剤「ビオフェルミン」は11億円（2.9%増）となりました。

利益面につきましては、増収による売上総利益の増益及び効率的な広告宣伝費や販売促進費の使用等により、営業利益は52億5千4百万円（96.3%増）、経常利益は92億4千6百万円（129.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は57億5千1百万円（387.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ147億円増加し、9,029億円となりました。現金及び預金が43億円、建設仮勘定が27億円、のれんが39億円、商標権が23億円、投資有価証券が22億円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が33億円減少しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ11億円増加し、1,213億円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ136億円増加し、7,816億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益58億円及び剰余金の配当41億円により利益剰余金が16億円、その他有価証券評価差額金が15億円、為替換算調整勘定が103億円それぞれ増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日公表時から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	265,049	269,328
受取手形及び売掛金	53,676	50,361
有価証券	7,219	7,213
商品及び製品	25,456	26,850
仕掛品	3,369	3,188
原材料及び貯蔵品	16,066	16,317
その他	8,438	11,615
貸倒引当金	△411	△445
流動資産合計	378,864	384,429
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	49,455	49,057
機械装置及び運搬具（純額）	15,291	15,486
土地	37,394	37,127
建設仮勘定	13,434	16,107
その他（純額）	3,716	3,612
有形固定資産合計	119,291	121,392
無形固定資産		
のれん	125,769	129,649
販売権	366	344
商標権	68,060	70,328
ソフトウェア	10,812	10,428
その他	8,050	8,404
無形固定資産合計	213,059	219,156
投資その他の資産		
投資有価証券	141,067	143,244
関係会社株式	12,557	12,509
長期前払費用	1,823	1,728
退職給付に係る資産	11,240	11,378
繰延税金資産	9,508	8,293
その他	976	1,005
貸倒引当金	△230	△230
投資その他の資産合計	176,943	177,929
固定資産合計	509,294	518,478
資産合計	888,159	902,907

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,101	14,979
未払金	15,521	15,396
未払法人税等	3,579	2,116
未払費用	11,736	15,597
返金負債	8,796	7,084
賞与引当金	3,633	2,808
その他	3,909	3,918
流動負債合計	62,277	61,901
固定負債		
役員退職慰労引当金	969	971
退職給付に係る負債	21,329	21,520
繰延税金負債	29,162	30,565
その他	6,462	6,362
固定負債合計	57,924	59,420
負債合計	120,202	121,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
利益剰余金	702,984	704,633
自己株式	△21,033	△21,038
株主資本合計	711,950	713,594
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,586	27,098
為替換算調整勘定	8,488	18,757
退職給付に係る調整累計額	1,371	1,392
その他の包括利益累計額合計	35,447	47,247
新株予約権	753	753
非支配株主持分	19,806	19,990
純資産合計	767,957	781,586
負債純資産合計	888,159	902,907

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	63,884	69,069
売上原価	24,144	27,264
売上総利益	39,739	41,805
販売費及び一般管理費	37,063	36,550
営業利益	2,676	5,254
営業外収益		
受取利息	343	324
受取配当金	958	1,017
持分法による投資利益	82	129
為替差益	201	2,490
その他	39	109
営業外収益合計	1,625	4,071
営業外費用		
支払利息	21	28
支払手数料	15	16
子会社株式取得関連費用	197	—
その他	33	33
営業外費用合計	268	78
経常利益	4,033	9,246
特別利益		
固定資産売却益	3	72
特別利益合計	3	72
特別損失		
固定資産処分損	31	108
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	32	108
税金等調整前四半期純利益	4,004	9,210
法人税等	2,301	2,896
四半期純利益	1,703	6,313
非支配株主に帰属する四半期純利益	524	562
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,179	5,751



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,703	6,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,696	1,563
為替換算調整勘定	7,998	11,461
退職給付に係る調整額	△29	14
持分法適用会社に対する持分相当額	△23	△45
その他の包括利益合計	5,249	12,993
四半期包括利益	6,953	19,307
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,304	17,552
非支配株主に係る四半期包括利益	1,648	1,754

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,623	10,260	63,884	—	63,884
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	53,623	10,260	63,884	—	63,884
セグメント利益(注2)	3,112	15	3,127	△451	2,676

(注) 1 「その他」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	セルフメディケーション事業	医薬事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	59,343	9,725	69,069	—	69,069
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	59,343	9,725	69,069	—	69,069
セグメント利益又は損失(△) (注2)	6,225	△473	5,751	△497	5,254

(注) 1 「その他」の区分は、主に報告セグメントに帰属しない当社(純粋持株会社)であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。